

共同運営部門：ICU/CCU センター

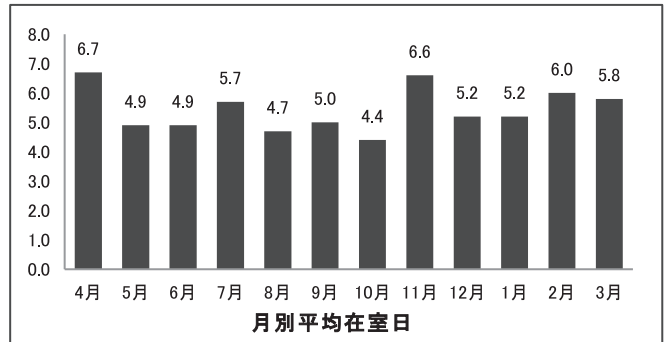
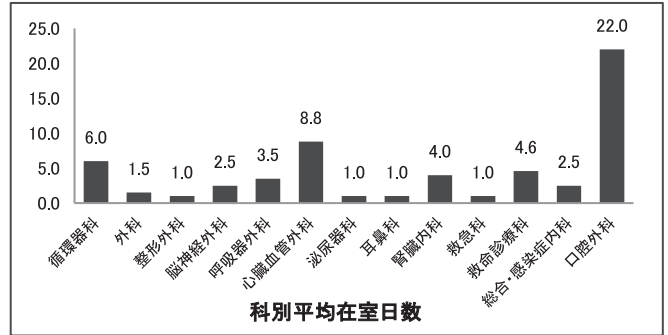
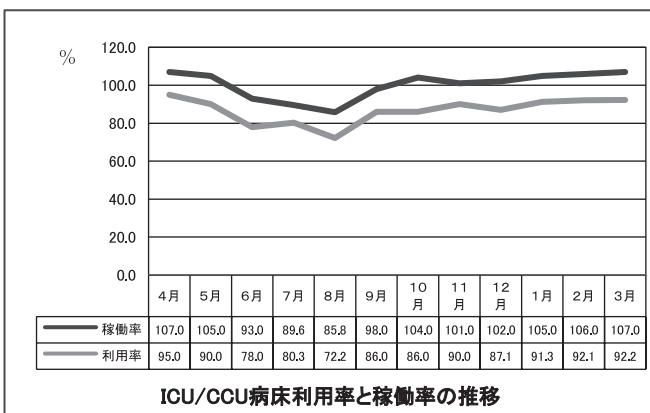
—関係部署—

心臓血管外科	循環器内科
外科	救命診療科
泌尿器科	腎臓内科
口腔外科	救急科
整形外科	形成外科
呼吸器外科	産婦人科
脳神経外科	総合内科・感染症内科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	

—概要—

当院のICU/CCUは、2013年度より特定集中治療室管理料3の施設基準を満たし、管理料を取得している。

—実績—



—今年度の成果と反省点—

2022年度のICU/CCU延べ患者数は3,219件であり、昨年度より129件と大幅な増加となり、コロナ禍前を凌ぐ入室数となった。一年を通して入室数の大きな落ち込みは見られず、病床利用率86.7%、病床稼働率100.3%ともに昨年度を上回った。こうした実績もあって、ICU/CCUの純増分は昨年度を約1,300万円上回る高稼働額となった。

入室状況は、外科系各科の予定手術後入室を中心とした予定入室が45.1%であったのに対して、緊急入院を中心とする緊急症例が54.9%であった。

入室診療科では、心臓血管外科と循環器内科で93.5%を占め、例年以上に循環器系の入室が多かった。そのため引き続き外科・口腔外科など外科系の術後入室もあったが、その比率は例年より低かった。

以上のように高い入床率と稼働額を上げたが、一方反省点としては、長期入室症例の存在や、後方ベッドである7階山側病棟HCUの回転の問題から、満床状態が高頻度で発生し、このため循環器救急の停止時間が少なからず発生した。

—来年度への抱負—

今年度同様に、高い病床利用率、稼働額の維持を図るとともに、各病棟や病床管理と連携して、長期入室症例の削減と病床回転のさらなる効率化を目指していきたい。これによって、循環器救急停止時間の減少を目指したい。

